

富士見多聞衛兵詰所

多聞とは一般的に、城壁上に作られた 1 階建の長屋のような建物を指します。戦時には襲撃者に発砲するために、

そして平時には武器を保管するために使われました。1659 年に建てられたとされるこの多聞は、城のこの区域に現存

する唯一の多聞です。富士見多聞の名は、かつてここから富士山を望むことができたために名付けられました。また、将

軍が日中に生活した区域（御休息）近くにあるため「御休息多聞」とも呼ばれており、特別な用途があったのかもしれ

ません。

写真の説明

1. 蓮池の堀から見える富士見多聞
2. 17 世紀中頃の江戸城設計図に基づいた間取り図（宮内公文書館）